

登録コード	UAF03500	開講年度	2026				
授業題目	学習過程論特論					担当教員	安達 仁美
						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。				学習過程を捉えるために必要な質的心理学に関する知識・技能を得る。		
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				キャリア教育や生徒指導・教育相談に必要な知識・技能を習得する。		
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				学習過程を捉えるために必要な質的分析方法について習得する。		
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				・キャリア教育や質的心理学に関する基礎的な知識を得た上で、深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。		
(2)授業の概要	人の生涯にわたる学習過程を質的心理学の見地から捉え、キャリア意識の形成や問題解決学習の理論に基づき多角的な視点から取り上げ検討することによって学際的な考察力を培うと共に、キャリア形成を支えるための基礎的知識を習得することを目的とする。前半は、質的心理学や職業心理学の見地からキャリア教育に関連する諸理論や事例について検討し、後半は論文レビューとディスカッションを通して学習過程の捉え方について検討していく。						
(3)授業計画	第1回：イントロダクション 第2回：学習過程をどのように捉えるか ― 質的研究の視点から 第3回：学習過程を問いとして構成する ― 研究課題の設定 第4回：学習過程をデータとして捉える ― 観察・語り・記録 第5回：学習過程を分析する ― 質的データの読み取り 第6回：学習過程の解釈と理論化 ― 概念化のプロセス 第7回：教育実践における学習過程の理解 ― 生徒指導・キャリア教育との接続 第8回：学習過程研究の構想 ― 研究テーマの検討と共有 第9回：論文レビュー : 生徒指導における学習過程の研究 第10回：論文レビュー : キャリア形成における学習過程の研究 第11回：論文レビュー : 教育実践における学習過程の質的研究 第12回：論文レビュー : 学習過程研究の分析と解釈 第13回：学習過程研究のデザイン ― 自身の研究課題の検討 第14回：研究課題に基づいたダイアログ,授業アンケート 定期試験 期末試験の有無 無 第1回～第14回の順番や内容は受講者の問題関心によって適宜アレンジする						
(4)成績評価の方法	毎時間の授業内容の理解度を確認するミニレポート(30%)、授業のねらいの到達度を測るレポート(40%)、ディスカッションへの参加度(30%)により総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)成績評価の基準	1)学習過程に関連する諸理論の基礎的理解 2)学習過程に関連する諸理論の発展的理解 3)発表における論旨の適切性 4)ディスカッションへの協働的な関与 5)オリジナルの見解提示 上記の内、全てを満たしていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目を満たしていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	授業前には、事前に配布する資料を読みこんで自分の意見をもって授業にのぞむこと。授業後には、授業を通して学んだ内容授業中に提示するテーマについて改めて考え、まとめること。この授業は90時間の学修を必要とする内容のため、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(7)履修上の注意	研究課題に対して疑問点などを整理しておくこと。常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞみ、積極的に意見交流してほしい。						
(8)質問,相談への対応	・長野(教育)キャンパス 北校舎 N308 安達研究室 E-mail : adachi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：メール予約で随時対応						
【教科書】	特に指定しない						

【参考書】	大谷尚（2019）『質的研究の考え方—研究方法論からSCATによる分析まで—』名古屋大学出版会（3850円） 能智正博他編（2018）『質的心理学辞典』新曜社（5184円）
-------	---